



敦賀港で消波ブロックアートを開催しました！

平成25年10月18日（金）、敦賀港川崎松栄地区のブロック製作ヤードにおいて、港と防波堤の役割について学習し、港に親しみをもってもらうことを目的に、敦賀西小学校の3、4年生86名が、総合学習の一環で消波ブロックアートを体験しました。

最初に、敦賀港湾事務所の杉浦保全課長から、敦賀港や消波ブロックの役割などについての講話を聞きました。児童から「防波堤でシェークブロック以外の種類は使われていないの」と積極的な質問があり、他港の事例なども含めて分かりやすく説明を行いました。

その後、児童達が図工の授業で画用紙に描いた絵を元に下絵された消波ブロックに、様々な色を入れていきました。みんな真剣に、そして時には楽しそう描き、朗らかな時間が流れていました。

最後に児童達から感想を聞いたところ多くの手が上がり、「今日はこんなに楽しいことをさせていただきありがとうございます」、「最初は仕事みたいと思っていたが、以外に楽しかった」、「シェークブロックがこんなに重いつて知ることが出来て良かった」、「私より大きいものに絵を描くのが初めての体験でした」、「なぜ、海にシェークブロックがあるのかが分かって良かった」、「いつかフェリーに乗って描いた絵を見に行きたい」など、思い思いの感想が返ってきました。

この消波ブロックは、来年1月までこのままブロック製作ヤードで展示した後、2月に鞠山北防波堤の最上段に据え付ける予定となっています。



敦賀港や消波ブロックの役割について講話



消波ブロックアート全体の様子



消波ブロックに描く児童達



消波ブロックアートの出来上がり